

資料7

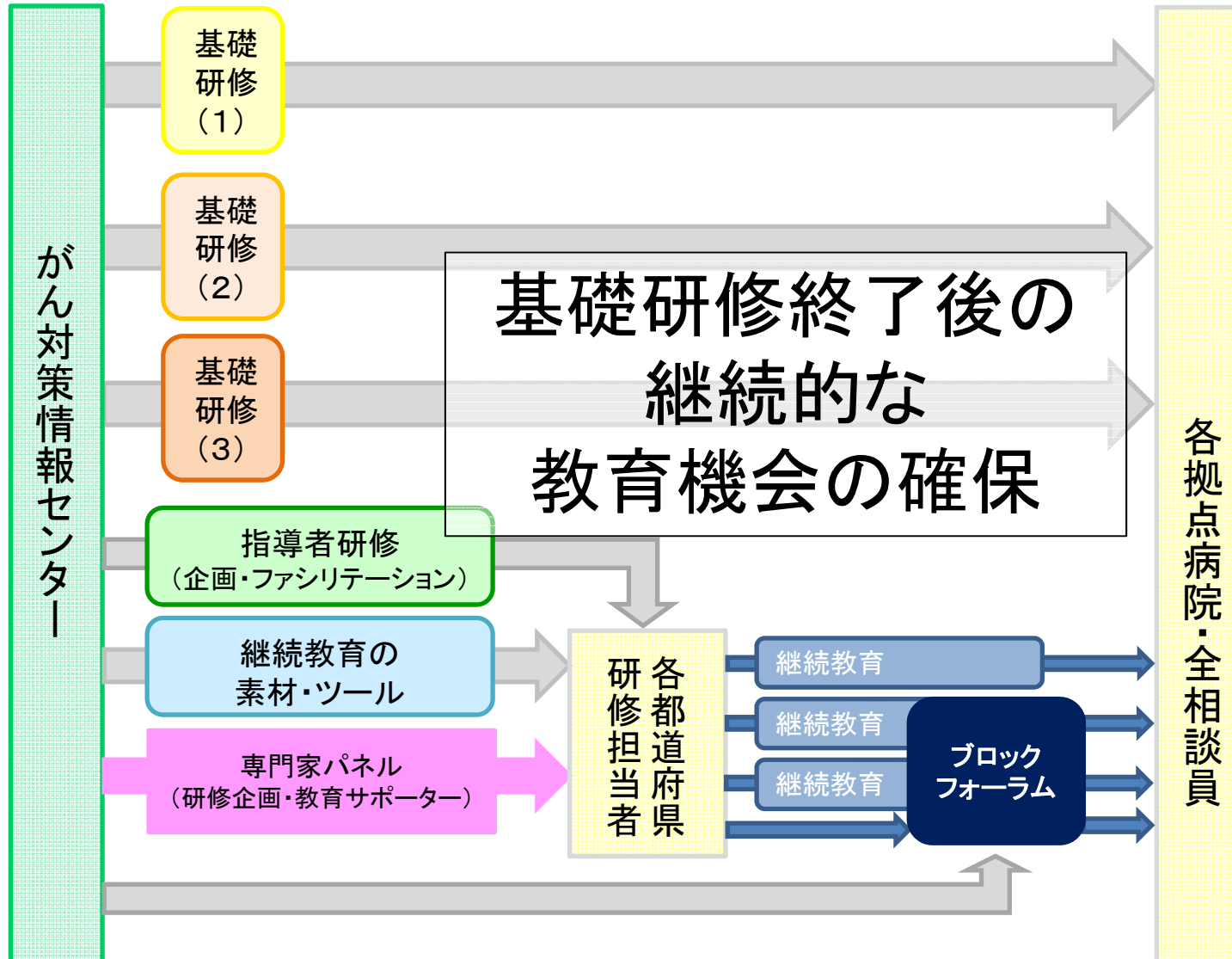
地域相談支援フォーラム 概要紹介

～これまでの開催実績と今後の予定について～

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第2回情報提供・相談支援部会
2013年5月13日(月) 国立がん研究センター国際研究交流会館

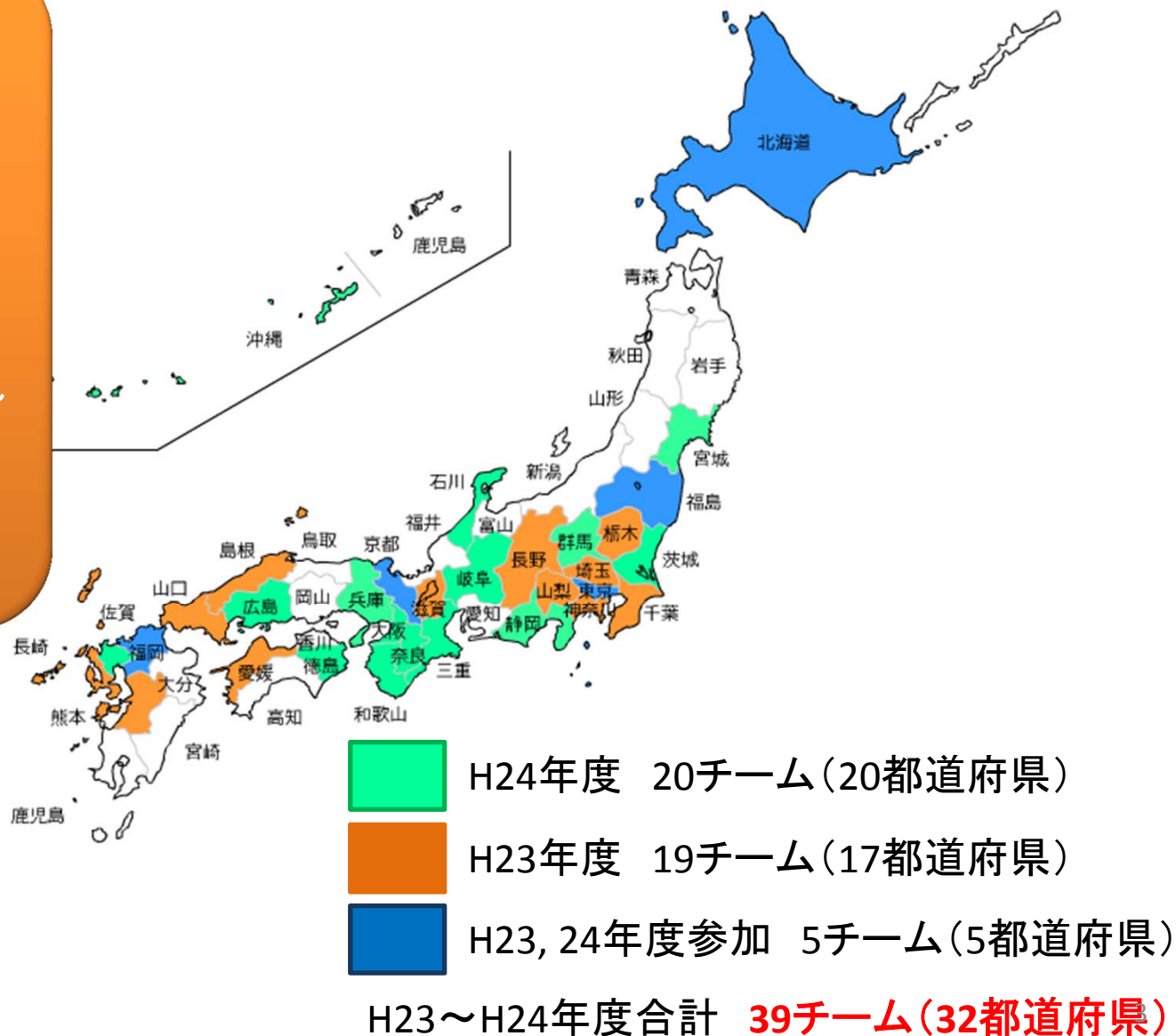
相談支援センター相談員研修会(案)

制度面が整えば
平成26、27年度～



相談員指導者研修会（任意）の参加状況 （H23年度より開始）

- 地域での相談員の
継続教育に携わる
人材養成を目的とし
た研修
- 都道府県拠点病院
所属の相談員を含
む3人1組のチーム
 - 異なる施設から構成され
るチームが望ましい
- 3日間
 - 教材づくり、ファシリテー
ション、研修計画



地域相談支援フォーラム

広域ブロックでの相談員の学びの場

- 目的
 - 相談支援業務の質の維持・向上
 - 都道府県の枠を超えたネットワーク構築
 - 基礎研修後の継続教育の場づくり
- 参加対象
 - がん診療連携拠点病院の相談員
 - 県指定病院の相談員
- 主催
 - 国立がん研究センター
がん対策情報センター
- 後援
 - 各都道府県
- 協賛
 - がん情報普及に関する協定を締結した企業



実務者フォーラム 概要



独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報サービス ganjoho.jp

このサイトの
 一般の方へ 医療関係者の方へ がん診療連携

がん診療支援 研修・セミナー 院内がん登録 相談支援センター

TOP > 相談支援センター > 地域相談支援フォーラム > 中国・四国ブロック 地域相談支援フォーラム(開催概要)

平成24年度
中国・四国ブロック 地域相談支援フォーラム(開催概要)

更新日:2012年02月01日 掲載日:2012年01月07日

■主催 ■位置付けについて ■構成 ■対象 ■開催日時 ■会場 ■募集人数 ■経費 ■お知らせ ■申込 ■申込方法 ■問い合わせ先(地域相談支援フォーラム事務局) ■その他

■主催
 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

[このページの先頭へ](#)

■位置付けについて
 本研修は、がん診療連携拠点病院の指定要件において、研修者の配置が求められている研修ではありません。

[このページの先頭へ](#)

■構成
 相談支援実務者対象研修会と公開セミナーの二部構成です。
 実務者対象研修会では、参加施設が共通で抱えている相談支援センターの機能強化・相談対応力強化の各種課題のうち、地域ブロック単位で課題・事例共有を行うことで次のステップを見極めるためのグループワーク、所属する施設タイプごとに特色の(相談支援チームの)課題とそれを克服する上での取り組みを共有するためのグループワーク、越境して支援しに求められる患者さんやそのご家族を支援するための取り組みを相談支援者、診療現場、自治体等複数の視点からとりあげるJ/ネルティスセッションとR&A等を中心としたプログラムを予定しています。
 公開セミナーでは、フォーラム開催地域の方に、相談支援センターの認知度向上を図るためのプログラムを予定しています。公開セミナーへの参加は任意となります。

[このページの先頭へ](#)

■対象
 中国・四国9県のがん診療連携拠点病院またはそれに準ずる医療機関等で、がん相談支援業務に携わる方

- プログラム
 - 土曜日一日 終日
- 開催地
 - ブロック内から日帰り可能
 - 最寄り駅からのアクセス良好
- 募集人数
 - 各ブロック 約100名
- 参加費
 - 無料

実務者フォーラム プログラム(参考)



- グループワーク① 県ごと
- 事例紹介

＜九州・沖縄ブロック＞

- 院内体制の違い
専任、兼任
- 地域への広報活動
- 県を越えて受療されたケース

＜中国・四国ブロック＞

- 地域への広報活動
地域の医療・介護関係者に対して
一般の方に対して
- 院内の周知活動
患者さんに対して
医療者に対して
- “よしっ！”と思える相談とは？
看護師、MSW、心理士の立場から

- グループワーク② 県を越えて
- グループワーク③ 県ごと
- 全体ディスカッション

詳細は実務者の方々のご協力を得て調整を行います。

地域相談支援フォーラム 実行委員会

- 国立がん研究センターより、各施設長宛に正式依頼
- 各県 3~4名の実務者
- 選出根拠
 - 相談支援部会 実務者委員
 - 指導者研修受講者
 - 専門家パネル
 - 県拠点から推薦された実務者
- 依頼事項
 - プログラムの検討
 - 事前打ち合わせへの参加
 - 当日演者/ファシリテーターとして参加
- 旅費
 - がん情報普及に関する協定を締結した企業からの協賛金より支出

■実行委員リスト

プログラムの検討をはじめとする本フォーラムの運営は、開催地域の相談員の方々によって結成された実行委員会によって行われました。

No. 都道府県 氏名 所属施設名

1	福岡県	竹山 由子	九州がんセンター
---	-----	-------	----------

■実行委員リスト

プログラムの検討をはじめとする本フォーラムの運営は、開催地域の相談員の方々によって結成された実行委員会によって行われました。

一部表示でなく、漢字を常用漢字へ置き換えて、必ず
藤石河・巻物組

No.	都道府県	氏名	所属施設名
1	鳥取県	寺地 妙香	国立大学法人 鳥取大学医学部付属病院
2	鳥取県	藤山 義人	鳥取県立中央病院
3	鳥取県	藤山 聖	鳥取市立病院
4	鳥取県	影野 智美	鳥取県立厚生病院
5	鳥取県	榎野 貴子	国立大学法人 鳥取大学医学部付属病院
6	鳥取県	大田 桂子	国立大学法人 鳥取大学医学部付属病院
7	鳥取県	渡辺 純	松江市立病院
8	鳥取県	香川 清美	鳥取県立中央病院
9	岡山県	石橋 真子	国立大学法人 岡山大学病院
10	岡山県	山本 佳代	創聖法人岡山地区会 岡山中央病院
11	岡山県	竹嶋 英雄	総合病院岡山市立病院
12	広島県	藤田 香子	国立大学法人 広島大学病院
13	広島県	山崎 裕子	広島市立広島市民病院
14	広島県	丸笠 和典	広島市立・厚狭病院
15	山口県	高杉 典尚	国立大学法人 山口大学医学部付属病院
16	山口県	榎 貴子	総合病院山口市立病院
17	山口県	金子 美奈	総合病院山口市立病院
18	山口県	村山 明	独立行政法人国立病院機構 徳島癌センター
19	徳島県	藤田 高哉	国立大学法人 徳島大学病院
20	徳島県	宮崎 翠子	国立大学法人 徳島大学病院
21	徳島県	有馬 健夫	徳島県立中央病院
22	徳島県	藤川 順文	徳島市立病院
23	香川県	中矢 貴子	国立大学法人 香川大学医学部付属病院
24	香川県	森内 美穂	三豊総合病院
25	香川県	松本 益紀子	高松市立病院
26	愛媛県	野内 由貴	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
27	愛媛県	山口 隆	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
28	愛媛県	二宮 俊男	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院
29	愛媛県	若田 千津	愛媛県立中央病院
30	愛媛県	山本 隆司	愛媛県立中央病院
31	高知県	前田 好美	国立大学法人 高知大学医学部付属病院
32	高知県	北原 可保子	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
33	高知県	沖野 典子	高知県立総合けんぽん病院

2013年12月9日現在

平成24年度 開催実績

九州・沖縄ブロック
2012年12月1日(土) 熊本にて開催

中国・四国ブロック
2013年3月9日(土) 岡山にて開催

鹿児島
部門会運営開始

宮崎
実務者会議発足

- 自分たちにできることを少しずつやっていきたい
- 待っているだけではいけないと感じている
- 相談支援センターのモデル体制を、現場の声から作り、指定要件にいれてもらうようなアクションを起こしたい



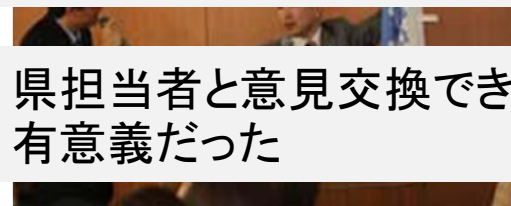
- 相談員が抱える悩みに共感できた
- 同じように悩み、支えてもらえると心強く思った
- 「相談員サロン」のように感じた

- 連携のネットワークができた



- 課題が明確化できた
- 今後の取り組みが具体化できた

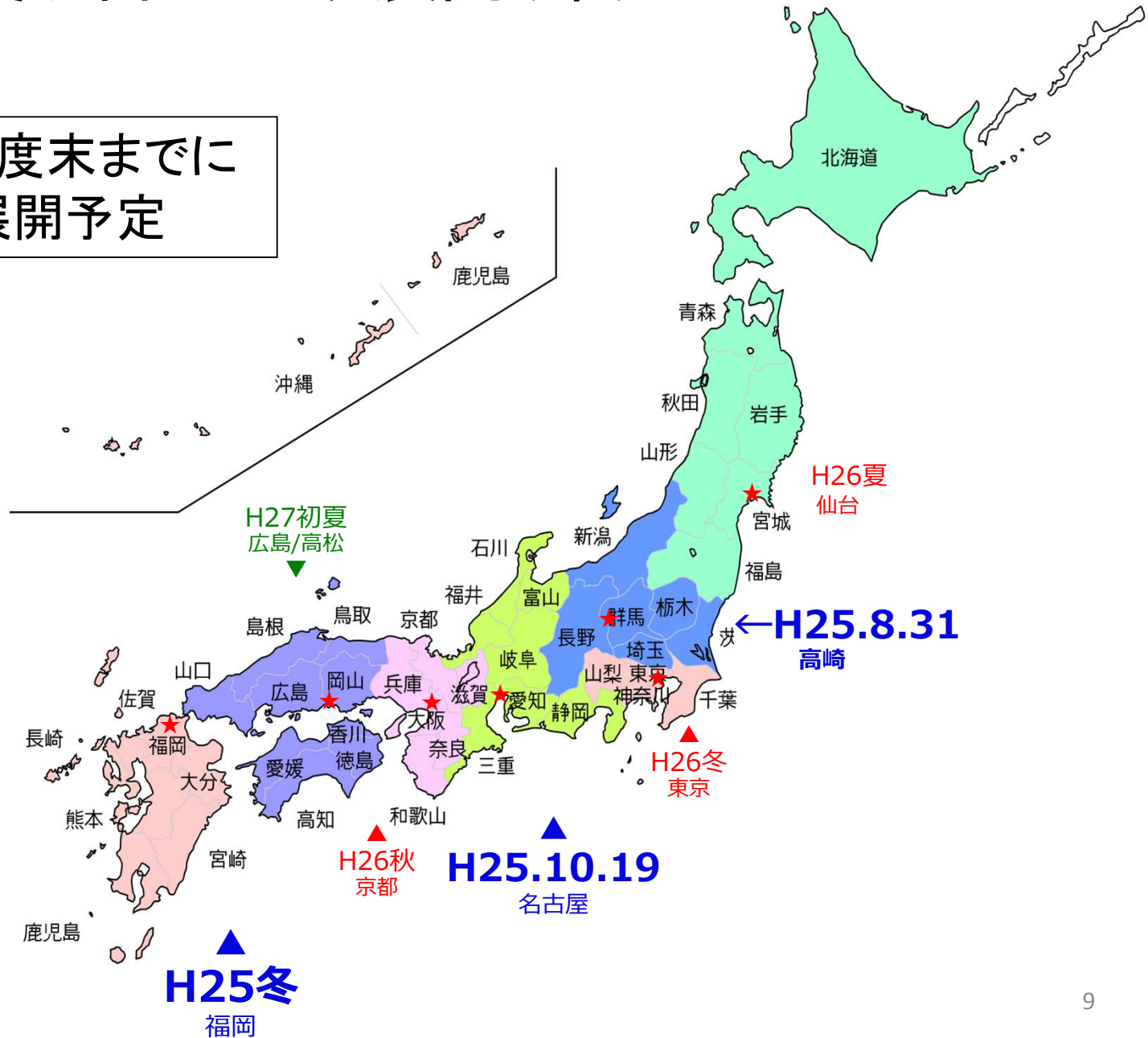
- 県担当者との意見交換でき、有意義だった



- ぜひ、継続して開催してほしい

平成25年度以降の地域展開(案)

平成26年度末までに
全国展開予定



都道府県がん診療連携拠点病院のみなさまへ

開催前をお願いしたいこと

- 実行委員として、実務者1名のご協力
- 県内の実行委員人選に関するアドバイス
- 県内の関係者（協議会参加者、県指定病院）へのご案内

開催後をお願いしたいこと

- ご感想をお寄せください
- フォーラム後、県内・ブロック内での新たな動き・変化等があればお知らせください

拠点病院の相談員のみなさまへ

開催前をお願いしたいこと

- 県内の実行委員人選に関するアドバイス
- 対象者が院内にいらっしゃる場合は、実行委員として実務者のご協力
- ぜひ当日のご参加をご検討ください

開催後をお願いしたいこと

- ご感想をお寄せください
- フォーラム後、県内・ブロック内での新たな動き・変化等があればお知らせください